

▶一周年記念式典のようす



# 盛大に30周年

## 10月15日に……

### 町に生まれ 町を愛し 町に生きたい



中野 統寿さん  
(国 峰)

記念の年を迎えて、甘楽町発足が、私の生まれた年と同じ年であることを知りました。今まで町の行事について、関心をもったことがない私ですが、何か役に立つことができたいと思います。

何より住みよい町とは、道路・公園、医療設備など住む人々が便利に思うことです。私の家の前の道は狭くてデコボコ、とても騒々しく昔々もせん、公園も、子どもや老人も楽しめる遊園地的な所がほしいし、遠くの子どものためのスクールバスも良いと思いますね。

近ごろでは、リクルートのように金権的政治が幅をきかせる時代ですが、新年を迎えて、町長さん、議長さんには、町の中心で忠心を持って町の発展のために働いていただきたいと思います。

歴史の香る文化とゆとりあ



中野 悦子さん  
(小 樽)

る町。かんら、の新しい墓園を期待します。

甘楽町発足三十周年おめでとうございます。

私も三十歳を迎えます。

共に歩いて来た甘楽町もすいぶん変わってきました。昨年、主人の父親が九州から来ましたが、桜葉木を見て、テレビで見た「あの場所だ」と感激した様子でした。私も九州の人にして知られる私も、九州の人にして誇り感じたいです。

半面、子どもたちの雄川での水遊び、夕方おそくまで友達と遊んだことなど思い出されます。時代の流れが雄川の流れてまで変えたことを、ちょっと寂しくも思います。

今、子どもを持つ母親として、子ども達にあらたなようす、清い水の流れる、ゆとりと安心の遊び場所を与えることができればすばらしいと



齊藤 光市さん  
(福 島)

時代は変わっても、子どもの心まで変えることなく、のびのびと心豊かに成長できる環境を作ってあげられたらと願っています。

新年明けましておめでとーございます。お健やかに初春をお迎えのことと存じます。光陰矢の如しと申しますが、月日の経過するのは早いもので、当甘楽町も発足三十周年を迎えました。

私達は、その甘楽町発足と同年ということで光栄な年に生まれ、今、心算となるものを感じております。

今後、私達が解決すべき問題は数多くありますが、地方の時代を迎えたと言われていく昨今、それにふさわしい活力ある町づくりを目指すためには、人口増化対策の推進が何よりも重要かと思われます。

これは、口で言うほど簡単



黒沢みつ恵さん  
(道 石)

なことでありませんが、工場や大商店等を積極的に誘致し、更に町内商工業の育成、住宅地等の開発を一層増進させるなど、町と住民が一体となり、それぞれのゾーンごとに積極的な施策を展開していく必要があると考えます。

最後に、清い雄川の水とロマンに溢れたこの地で今後も生き続けたいと思います。

甘楽町も三十歳の誕生日を迎えたとお慶びしまして、びっくりいたしました。

高度成長時代を迎え、高速道路やゴルフ場の建設、甘楽町も大きな発展を成し、親光面におかれましては数々の業績、そして外国との友好、過大な成果。

私の人生においては、結婚、そして二児の育児、この子らを立派に育てていく役目があります。

これからも、歴史の残る、そして進歩ある町、私の生まれ育った甘楽町と共に歩んで行きたいと思えます。